ボランティアセンターだより

アイリス東郷

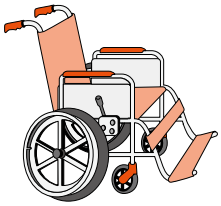
2012年2月
第33号

編集・発行
社会福祉法人
東郷町社会福祉協議会
東郷町ボランティアセンター
〒470-0151
東郷町大字諸輪字北山
158−90
東郷町福祉センター内
TEL 0561-37-5411
FAX 0561-37-5412

もくじ

福祉実践教室開催……1
東日本大震災ボランティア、講座案内……2
ボランティア活動中&募集　ボランティア連協だより……3
クイズ、四コマ等……4

福祉実践教室開催!



私たちが暮らす社会では障がいのある方や高齢者等さまざまな人が暮らしています。町内の小中学校では、障がいのある方や高齢者との交流をとおして、自分たちができることを考えるきっかけとなるよう福祉実践教室を開催しています。

体験する内容は、手話・車いす・点字・要約筆記・ガイドヘルプ・高齢者擬似・盲導犬等です。

今年度は新たに、高齢者理解（認知症理解）・発達障がい理解の体験が加わりました。

以下は東郷中学校の福祉実践教室の様子です。

高齢者に対しての理解 ～認知症って、どんな病気？

平成23年12月16日（金）

東郷中学校1年生35名が体験しました。講師は東郷町役場長寿介護課職員、地域包括支援センター職員、認知症キャラバンメイトの皆さんです。

日常生活での認知症の方とのコミュニケーションの仕方について紙芝居や劇で説明しました。

どんな対応をすれば良いのかをグループワークをして、実際に演じてもらいました。

体験後、認知症についてのクイズに答えてもらいました。

生徒の感想

認知症理解

・授業を受ける前は、認知症のことはあまりくわしくはわからなかったけれど、授業を受けて温かい目で見守ってあげるんだなと思いました。また、いろいろな人が認知症のことを知っていれば、その認知症の人が悲しんだり、さみしい気持ちになったりしなくてもいいと思いました。

・認知症は、さっきやったことも忘れたり等つらいこともあるけど、できることもたくさんあることがわかりました。おばあちゃんが困っていたらお手伝いをたくさんし、優しく話したりするのが大切だとわかりました。

・認知症について詳しく知ることができました。紙芝居や劇がわかりやすかったです。自分だったらどのように対応するか等みんなで話し合うこともできとても良かったと思います。

・僕は高齢者との関わりが少なく、高齢者に対する理解が少なかったです。この体験で多くのことを知りました。自分が認知症のサポーターになれたことを誇りにお年寄りの方と楽しく接することができれば良いです。

東日本大震災のボランティア

石巻のボランティア活動に参加して

藤本　つかさ

地震が起きた3月11日、テレビの映像に衝撃を受けて自分でも何かできることはないかと思い、訪問看護ステーションを行っているキャンナスという団体で4月12日から17日間、ボランティア活動に参加しました。

私が行った非難所の湊中学校の周囲は、津波で家がないか、または家が残っていても一階には入ることも難しい状況で、道端には柱や家具が山積みとなっていました。中学校には外の粉塵が上階に入ってくるので、二階からは土足厳禁にし、廊下や階段の掃き掃除を行いました。電気、ガス、水道は止まっており、トイレは水が流れませんでした。其のため、便器にオムツを敷いて、使った人が毎回捨てるようにしました。また、湊中学校で行われている昼の炊き出しの時には、近隣の医療情報や移送ボランティアの連絡先など必要であると思われる情報を紙に書いて渡し、家にいる人たちへの情報提供を行いました。こちらから声をかけて何が必要か、不安や困っていることはないか聞いて情報収集を行い、次の情報提供につながるようにしました。

被災地の状況は日々変化し、問題も変わってきます。そのため、必要な援助を行うにはその時の状況に対応しつつ、次に起こると考えられることに対する対策、予防を同時に行うことが必要だと感じました。

今回、ボランティア活動に参加して、家族や仕事、家など当たり前にあるものの大切さを実感しました。それらを一瞬にして失った方たちの悲しみは計り知れず、すぐに消えるものではありません。私は今回の活動を通して、こんな自分でも少しですが助けになることができるとわかりました。自分が行動することで何かが少しでも良い方向にできるなら、当たり前の生活に感謝することを忘れないようにして、その活動・行動を続けていきたいと思います。

今号では、震災1ケ月後看護師として活動された東郷在住（活動時）の方のお話を掲載しました。

東日本大震災のボランティアで活動した方で、活動内容・活動して感じたこと・活動したい方のための情報等記事がありましたらお寄せください。

講座案内

要約筆記奉仕員養成講座（基礎課程）

～書くことでできるボランティア～

聴覚障がい者＝「手話」と思われがちですが、聴覚障がい者の半数以上は、「要約筆記」（相手が話すことを文字で伝えること）を主なコミュニケーションとしています。要約筆記は、手話とならんで社会参加の重要な役目を担っています。聴覚障がいについて理解を深め、話し言葉を要約することによりわかりやすく伝える書き方を学びます。

◆日　時　平成24年2月4、11、18、25日　土曜日　午前10時～正午　全4回
◆場　所　町民会館　3階　視聴覚室
◆定　員　20名
◆受講料　1，050円（テキスト代）
◆講　師　OHP TOGO「和」
（申込・お問合せ）
東郷町ボランティアセンター

福祉実践教室の様子

講座の講師『OHP TOGO「和」』を紹介します！

（定例会）毎月第1・3土曜日午前9時30分～正午
町民会館大会議室で、要約筆記の勉強会を行っています。
町内の小中学校の福祉実践教室で講師もしています。

ボランティアさん活動中！＆募集！

『おかめ』

12月11日（日）

障がいのある方々のチャレンジド・クリスマス会で「あらしのよるに」のペープサートをしました。

『アンサンブル コスモス』

12月20日（火）

福祉センターで大正琴・ギターの演奏をしました。クリスマスソングや昭和の歌謡曲を演奏され、利用者の皆さんも一緒に口ずさんでいました。

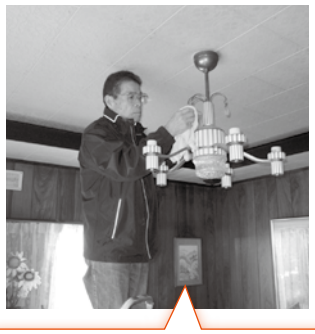
朗読・オカリナ・ギター・沖縄三線・大正琴・民謡・ハワイアンダンス等の演奏系の方が活躍されています。
特技や趣味をいかしてみませんか？
グループではなく個人でも活動できます！

『図書修理ボランティア』

町図書館の図書修理をしています。

関心のある方は、「図書修理講習会」を受講してください。次回は3月18日(日)午後2時～4時
お問合せは町図書館まで。
（0561）38－2900

『ちょこボラ』募集！



地域包括支援センターが把握している高齢者等の生活の中で、ちょっとした困りごとの解決に力を貸していただくボランティアを募集しています！

『中学生もボランティア』

11月13日（日）
文化産業祭り共同募金コーナーにて町内の中学生16名が活動しました！

ボランティア連協だより

11月13日（日）
文化産業まつりに出展

パネル展示、手話コーナー、輪投げを行いたくさんの方々に参加いただきました。

ボランティア連絡協議会に入って一緒に活動しませんか？

プレゼントをいただきました！

老人保健施設「和合の里」の利用者の方々が手作りされた素敵なプレゼントをチャレンジド・クリスマス会の参加者にいただきました。

＊クイズ＊

『魚へん』ではない表記の魚もいます。次の魚は何でしょう?

① 香魚　② 公魚　③ 沙魚
④ 目高　⑤ 虎魚　⑥ 河豚

（ヒント） 魚の特徴、個性を考えるとわかりやすいです。

【応募方法】
問題の番号と答え、住所、氏名、電話番号、できればアイリス東郷の感想やご意見などをお書きの上、郵送・ファックス又は社協窓口の応募箱へ、2月末日までにご応募下さい。

【応募先】
〒470-0151
東郷町大字諸輪字北山158-90　福祉センター内
東郷町社会福祉協議会ボランティアセンター
アイリス東郷クイズ係
Fax 0561-37-5412

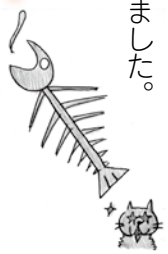
正解者の中から抽選で5名の方に粗品を差し上げます。

【前号のクイズの答え】
①さわら　②かれい　③こち
④ひらめ　⑤しゃち
ご応募ありがとうございました。

～お寄せいただいた感想・ご意見～

◆中学生のボランティア活動を見て、心が熱くなりました。

かわいいイラストを添えてくださいました。ありがとうございました。



『アイリス東郷モニターの声』

・まんががあると手作り感があり、ほっとする。
・夏休みふくし体験広場の記事が良かった。
写真があってわかりやすかった。
・中学生のボランティア活動の記事が良かった。世代が違うと知らないことも多いので勉強になった。
・クイズが面白かった。
・個人で気軽にできるボランティアを紹介してほしい。
・報告の記事だけではなく、これからのことも知りたい。
・一つの記事の文字数は少ない方が良い。
・配布場所を考えると良い。

このようなご意見をいただきました。参考にさせていただきます。

～ボランティアセンターからお知らせ～

3月～4月はボランティア保険・ボランティアセンター登録の更新時期となります。
現在登録されているグループ、個人の方々に案内をお送りしていきますので、更新・加入の手続きをお願いいたします!

編集後記

・2012年、新たな絆、元気をめざす年が始まりました。全国的にもボランティア活動が盛り上がることでしょう。
祈願昇竜!　H.S
・光陰矢の如し　とは言いふるされた言葉ですが、東日本大震災で被災された方々の心にも、夢と希望の持てる世の中になりますよう祈らずにはおれません。　H.F
・昨年末は、巷で流行っていた『断捨離（だんしゃり）』を試みた。数十年ためていたものを思い切って捨てるのは勇気がいるが、きれいになっていく部屋を見るのは嬉しい。あとは身体にたまった余分な脂肪はどうしたら…。　Y.I